

10. マルチプロジェクト研究機構の活動

マルチプロジェクト研究機構では、令和 6 年度は 9 の研究所が設置許可され活動している。各研究所の活動内容は以下の表に示した。

令和 6 年度は 10 月に所長ミーティングを実施し、各研究所の活動内容や課題を共有する場を設けた。

また、マルチプロジェクト研究機構の活動を学外者に周知するため、各研究所の紹介と本学の受託・共同研究の実績をまとめたチラシを作成し、企業が多く出展するビジネスマッチ東北で配布した。さらに、大学ホームページに同様の情報を掲載するなど広報活動を展開したことで、学外からの受託研究に関する問い合わせに繋がっている。

なお、令和 6 年度に研究所としての受託研究は 3 件、共同研究は 1 件である。

令和 6 年度 プロジェクト研究所の活動実績

研究所名	研究代表者	学内研究員	主な活動内容
インターネット望遠鏡プロジェクト研究所	山本裕樹	樋口恵佳	・秋田大学に設置した小型の望遠鏡の改良 ・「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2023」（東北大学）に「いつでも・どこでも・だれでも天体観測～インターネット望遠鏡の体験～」のテーマで出展 ・「ダ・ヴィンチ祭 2024」（富山県立大学）に「いつでも・どこでも・だれでも天体観測」のテーマで出展 ・「第 3 回トレーニングモード開発研修会」（東北公益文科大学酒田キャンパス）を開催 ・「2024「青少年のための科学の祭典」東京大会 in 小金井」（東京学芸大学）に「いつでも・どこでも・だれでも天体観測」のテーマで出展 ・「鶴岡サイエンスパークまつり 2024」（鶴岡サイエンスパーク）に「いつでも・どこでも・だれでも天体観測」のテーマで出展 ・「第 14 回慶應義塾大学インターネット望遠鏡プロジェクト・シンポジウム」（慶應義塾大学日吉キャンパス）をハイフレックスで開催し、口頭発表 ・「第 4 回トレーニングモード開発研修会」（東北公益文科大学鶴岡キャンパス）を開催 ・インターネット望遠鏡プロジェクト運営委員会をオンラインと対面で 5 回開催
起業研究所	神田直弥	温井亨 青木孝弘 広崎心 加藤嘉明	・「アントレプレナーシップ演習」1,2 を開講（経済学、会計学、経営学基礎、マーケティング論、経営管理論とあわせて 497 名が履修） ・東北公益文科大学連続シンポジウム「公益大があるということ これまで～これから」第 2 回「起業マインドを育成するエコシステム構築に向けて」パネルディスカッションに参加 ・アントレプレナーシップ教育に関する FD を実施 ・2025 年度の起業マインド人材育成に関わる科目の整理 ・複数の企業および官公庁と、共同教育や連携についての意見交換を実施

研究所名	研究代表者	学内研究員	主な活動内容
			・ SAKATA PROJECT DESIGNERS においてビジネスプランの発表
公共経営研究所	三木潤一	神田直弥 小野英一 白畑真由美 小関久恵 樋口恵佳	・ 酒田市総合計画(前期計画)施策の行政評価(外部評価)を実施し、『令和 6 年度(総合計画(前期計画)施策)の行政評価(外部評価)』としてまとめ、酒田市に提出 ・ 酒田市総合計画(後期計画)に係るアンケート調査分析を実施し、『令和 6 年度酒田市市民アンケート調査分析業務報告書』としてまとめ、酒田市に提出
サステナブル・モビリティ研究所	神田直弥	今野誠 加藤良浩	・ 令和 6 年度酒田市高校生の地域公共交通利用に関する意識調査研究業務委託を受託し、市内の高校生、専門学校生、大学生及び高校生の保護者を対象に実施したアンケートを分析し、報告書を作成。アンケート結果に基づき、バスの利用促進策について提言。 ・ 緑内障の受診を促すための企業で実施できる教育プログラムを開発し、JAF 職員を対象に試行 ・ 実車走行中に活用可能な高齢者向けの有効視野測定器の開発に向け、NTT 東日本と継続的に協議
庄内・地域デザイン研究所	温井亨	矢野英裕	・ 第 1 回鶴岡まちカフェ(鶴岡市が進めている図書館建て替えについて、市の検討会等とは別のチャンネルで考える機会)を開催 ・ 鶴岡倉庫の取り壊しの開始を受け、荘内日報に「壊してしまってもいいか鶴岡倉庫」を投稿し、実測調査を実施 ・ 鶴岡まちなかキネマで行われた『『図書館の未来』を考えるシンポジウム』への協力 ・ 学外研究員が都市計画学会学術研究論文に投稿し、全国大会で発表 ・ 研究所全体会議にて、研究所を解散し、次年度は市民の研究会として活動することを議決
地域共創・人材育成研究所	武田真理子	神田直弥 藤原良太	・ 地域共創コーディネーター養成プログラムの 9 年間の評価・まとめ及び改善点の分析 ・ こども支援とスクールソーシャルワークに関する研究とソーシャルアクション ・ 〈居場所づくり〉の複合的機構に関する研究 ・ 教育・福祉における排除／包摂に対する研究 ・ 公益学部における地域共創・人材育成の方法に関する研究
地域産業活性化研究所	広崎心	森元拓 加藤嘉明	・ 酒田米菓株式会社と 2 企画 4 製品のせんべい開発(うち 1 つは株式会社メカニック、1 つは東京女子学園との共同開発) ・ 有限会社ティーズファクトリーと清涼飲料の開発 ・ 株式会社本長と漬けタレの共同開発 ・ 株式会社田村牛乳とグッズ開発

研究所名	研究代表者	学内研究員	主な活動内容
			・いろは蔵パーク株式会社の協力により、いろは蔵パークテナント内で実施される定例イベントのプロデュースを当ゼミが当該小売店舗と実施するプロジェクトが現在進行中 ・基礎演習 b（ビジネスプラン講座）において、学外研究員 4 名がプランに対するコメンテーターを担当（うち学生 4 名・2 チームは、学外研究員がメンターとなり、Next10 ピッチ大会に出場） ・大学院講座特別セミナーb（事業承継講座）において、学外研究員 2 名が親族内承継の現状について講演を実施。また、安藤組グループが保有する風車のフィールド調査を実施。 ・株式会社丸高の関連企業である元気インターナショナルが年 3 回実施する「山居バル」プロジェクトにゼミ生が企画段階から参加し、諸活動を実施
とびしま未来研究所	呉尚浩	澤邊みさ子 小関久恵 樋口恵佳	・飛島における防災・減災地域づくりの推進に関する調査・提案（PJ 型応用演習「地域コミュニティにおける『防災』の仕組みづくりー大学周辺地区・飛島）」と連動） ・「能登半島地震における飛島島民の避難行動に関するヒアリング調査」を実施、「演習報告会」等で提案 ・「第 3 次山形県循環型社会形成推進計画」のアクションプランづくりのための研究・提案（SDGs 科目「海ごみ問題と循環型社会デザイン」と連動、「授業報告会」「山形県海岸漂着物対策推進協議会」等で提案） ・山形県海岸清潔度モニタリング調査結果を活用した海岸漂着物回収の有効な資源配分に関する研究（美しいやまがたの海プラットフォームと共同研究） ・「朝日新聞連載記念・とびしま関係者交流会」の開催 ・「海岸漂着物対策検討会」の開催（美しいやまがたの海プラットフォーム主催、とびしま未来研究所、共創センター 防災・環境部会共催）
ニュージーランド研究所	武田真理子	澤邊みさ子 バンティン グ・ティモ シー	・ニュージーランドに関する研究員の専門分野ごとの調査及び研究の実施 ・酒田市国際交流協会主催公開講座（共生社会関連）の開催協力、発表 ・ニュージーランドに関する他大学・他機関研究者、実務家、マスコミ等からの問い合わせ・取材への対応 ・日本ニュージーランド学会第 30 回研究大会・総会の開催への協力